

Aグループ

ライフステージに応じ支援（子育て・就学） ・ 国際視野の養成

【子育て・就学】これまでの取組（第2次計画）

取組	内容	令和6年度実績、取組内容、課題	評価
子育て情報の多言語化	妊娠・出産・育児を行う外国人市民に対し、子育てに関する情報を多言語で提供します。	未就学児や保護者の交流の場の提供、子育てに関する相談受付を実施している、子育て支援拠点を紹介した「親子が集える場」チラシの英語版を適宜最新情報へ更新し、窓ロックへの設置や市ホームページの掲載により、外国人市民向けの情報発信を行いました。	A 計画通り
		出産・子育て応援給付金の各申請書について、英語、中国語、ベトナム語に翻訳したものを活用したり、翻訳機などを用い対応しました。チラシ媒体を参考に、外国の方特有の手続きの説明など、やさしく分かりやすい日本語を用いて説明を行いました。	A 計画通り
		外国版母子健康手帳（10言語）に関する情報提供を行い、相談内容に応じた支援を実施しました。	B 概ね計画通り
乳幼児等の育成支援	保育所や放課後児童クラブでは、必要に応じてやさしい日本語やローマ字の使用で対応します。また、通訳ボランティアの活用を図ります。	日本語の理解が難しい外国籍の保護者に対しては、各保育所で、お便り等にローマ字やひらがなで、ふりがなをつけたり、やさしい日本語で話したり、状況に合わせた対応をしています。なお、令和6年度に原市南保育所に音声翻訳機を導入し、私立保育施設には音声翻訳機の導入補助を実施しました。	A 計画通り
		必要に応じて配布物をやさしい日本語表記にする、翻訳アプリを活用し意思疎通を図るなどの工夫をしました。また、児童が遊びの中で英語を身近に感じることができるよう英語のボードゲームなどを取り入れました。	B 概ね計画通り
子ども向け事業の開催	AGA主催の子ども向け企画（子ども教室、AGAサロン、あげおワールドフェア）、子ども向け体験教室を実施します。	実施無し	C 要努力
		10月に開催したあげおワールドフェアでは、スタンプラリー、キッズスポットや英語に触れるブース等子ども向けの催しを実施しました。	A 計画通り
「取り出し指導」の充実	児童・生徒の個性を生かした効果的な指導方法を研究し、全ての対象者に日本語指導職員を派遣します。	申請児童・生徒 75名全員に配置しました。	A 計画通り
進学に向けた進路指導	外国人市民向けの高校進学ガイダンス事業の活用等、適切な進路指導を行います。	県・県国際交流協会・県産業文化センター共催の外国人住民向け高校進学ガイダンス事業を紹介しています。	A 計画通り
学習支援活動、日本語補習の実施	関係団体と連携し、就学直後の外国人児童・生徒に対する学習補助を検討します。	にほんご教室の会場手配をしました。 今後のにほんご教室の在り方について、担当者で意見交換を行いました。	B 概ね計画通り

Aグループ ライフステージに応じ支援（子育て・就学） ・ 国際視野の養成

【国際視野の養成】これまでの取組（第2次計画）

取組	内容	令和6年度実績、取組内容、課題	評価
国際理解教育の指導方法に係る研修の充実	国際理解教育の指導力向上を目指し、教員を対象としたALTとのチームティーチング（共同授業）や夏期研修を行います。	国際理解教育の指導力向上を目指し、ALTの授業外での積極的活用を促進するとともに、教師を対象とした指導力向上に係る研修を行っています。【市・市教育研究会共催教員研修／年5回】	A 計画通り
小・中学校での国際理解教育に関する授業の充実	総合的な学習の時間に、地域に住む外国人市民の方を講師として国際理解教育に関する授業を行います。	中学校1校に対し、ゲストティーチャー5名を派遣しました。	A 計画通り
		各校では、総合的な学習の時間、特別活動、道徳、外国語等、複数の教科や学校行事を通して国際理解教育の充実を図っています。	A 計画通り
ALTの活用	外国語の授業にとどまらず、音楽や国語・総合的な学習の時間等においても児童・生徒がALTと触れ合い、国際感覚を身に着けられるように努めます。	現在、市内小・中学校33校に対して36名のALTを配置し、外国語及び国際理解教育の充実を図っています。外国語に係る授業だけでなく、他教科等での授業や休み時間・掃除時間、教育活動において、ALTを積極的に活用するように学校に指導しています。	A 計画通り
中学生海外派遣研修の実施	本市と友好関係協定を結ぶオーストラリアのロッキャーバレー市へ、市内の各中学校から2名ずつ生徒を派遣します。	毎年市内の中学生22名をオーストラリアのロッキャーバレー市に派遣しました。	A 計画通り
海外ボランティアとの情報共有	海外各地に派遣されるJICAボランティアの活動や、海外の暮らしについて市HP等にて広く市民に周知します。	JICAボランティアの活動記録を市HPに掲載しました。また、あげおワールドフェアにおいても活動の紹介を行いました。	A 計画通り

【子育て・就学】現状と課題

【現状】

- こども支援課のチラシで子育て支援の案内を実施
各子育て拠点への外国人が参加（ポケトーク補助）
- 英語教育については一定の成果につながっている
- 母子手帳を10言語で作成している
-

【課題】

- チラシについては英語版しかない点が課題
- 母子手帳や就学手続きなど手書きがボトルネック
- 給食のアレルギー対応について言語が壁である
後から分かったアレルギーへの対応なども
-

【国際視野の養成】現状と課題

【現状】

- 英語教育に力を入れている
- 給食で月1回世界の料理を出している
昼の放送で伝えることをしている
-
-

【課題】

- 英語話者が多い訳ではない（外国語≠英語）
- 大人は英語力の向上を期待してしまう
- 外国にルーツのある子どもがいる、いないではない
外国人のためにやる、ではなく全ての子供のため
-

【子育て・就学】他市事例

- 「外国人ママ・パパ向け子育て教室」（川崎市）
通訳付きで定期的開催
狙い：孤立感の解消と親子交流の促進
- 「外国人の母子を対象とする相談」（豊橋市）
通訳ボランティア制度を活用し、相談を実施
狙い：育児の不安の軽減
- 「外国人児童サマースクール」（豊橋市）
学校、地域住民、保護者等が連携して、夏休み期間中、日本語や教科などの学習
狙い：学習支援

【国際視野の養成】他市事例

- 「クラス活動に多文化体験ワークショップ」（太田区）
日本人児童と外国人児童が交流する機会を定期的に創出
狙い：異文化理解の促進
- 「学校でJICA海外協力隊員による現地生活や活動の紹介」
狙い：異文化への不安や言語の壁を乗り越えて現地で活動している姿は、生徒に海外や新しい環境への挑戦への自信を与える。

【子育て・就学】今後の取組

- 文書を適切に多言語に翻訳できる部署などがあれば申請主義なので、通知や申請書を訳してほしい
- 給食などのアレルギー対応の多言語化
- 窓口などで、生成A I を活用して絵やイラストで説明する（インフォグラフィックの充実）
- さくら連絡網（学校配信メール）の多言語設定を利用する（発信者に対して機能を周知する）

【国際視野の養成】今後の取組

- 学校教育で「やさしい日本語」を扱う
→ 社会参画に加え、日本語への理解が深まる
- 学校教育で地球儀をもっと使う
図法の違いや方位の違いなど
- 小学校などで世界の遊びを取り入れる
→ 日本が世界の一部であることを自覚する
- コミュニティスクールの活用

Bグループ

ライフステージに応じ支援（就労） ・ 人権尊重の意識啓発

【就労】・【人権尊重の意識啓発】これまでの取組（第2次計画）

取組	内容	令和6年度実績、取組内容、課題	評価
セミナーの開催や情報提供	在留資格制度や採用までの流れの説明を行うセミナーを開催します。 また、国や県等からの情報を、必要に応じ各事業者提供します。	・事業者に対し、人権や国籍等に配慮した取組について啓発を行う、企業人権問題講演会を開催しました。 ・県が実施した事業者向けの外国人材の活躍推進に係る伴奏型支援等のチラシを配布し、情報の提供を行いました。	A 計画通り
経営に関する相談対応	労務管理や人材教育の方法などをはじめ、企業の経営状態について調査・分析・アドバイス等を行います。	・事業者が抱える経営課題や地域課題の解決に向けて、上尾中小企業サポートセンターに登録している中小企業診断士やITコーディネーター等の専門家が、企業を訪問して現場を確認しながら経営相談や各種補助金の申請支援を行う伴走型支援を上尾商工会議所と連携して実施しました。	A 計画通り
介護事業所への支援	技能実習生を雇用する介護事業所に対し、市が住居の紹介や生活に不可欠な備品等を支援します。	技能実習生を雇用する介護事業所に対し、生活に不可欠な備品等購入費の支援を行いました。	B 概ね計画通り
国や県等と連携した情報提供	求職者や留学生の国内就職支援をはじめとする情報を広く周知します。	ハローコーナーニュースにハローワークの情報を掲載するとともにハローコーナーの相談者に対し、国・県など公的機関が主催する就職活動に関する情報の提供をしました。	B 概ね計画通り
		県が実施した国内就職支援について、チラシを配布し、情報の提供を行いました。	A 計画通り
就労に関する相談対応及び関係機関との連携	市の相談窓口における対応のほか、ハローワークや県の就労支援機関等と連携し、就労を希望する外国人市民に適切な支援を行います。	・上尾市ふるさとハローワークにて、若年者から高齢者等の就労支援・職業紹介・求人の受理・求人情報の提供等を実施しました。 ・内職相談を実施し、外国人を含む市民に対し、内職の照会を行いました。	A 計画通り
「あげおヒューマンライツミーティング21」の開催	人権講演や、関係団体による交流事業を開催し、外国人の人権について理解を深める機会を提供します。	令和6年12月7日（土）に「あげおヒューマンライツミーティング21」を開催し、その中で「AGA」ほか市内で活動する人権に関わる団体の交流ワークショップを実施しました。	A 計画通り
		ヒューマンライツミーティング内で外国人市民をゲストスピーカーとした講演を行いました。	A 計画通り
多文化共生に関する情報の提供	企業を対象とした研修などの機会に、人権に関する講演等を通じて情報提供します。	令和7年2月18日（火）に「企業人権問題講演会」を商工課と共催で開催し、企業における人権に関する取組などをテーマとして実施しました。	A 計画通り
		令和7年2月18日に、市内事業者を対象とし、「企業における人権～職場の人権啓発活動～、公正な採用選考」の2つをテーマに、講演会を開催しました。【参加人数：29名】	A 計画通り

【就労】現状と課題

【現状】

- 必要な情報が必要な人に行き届いていない。
- マッチングがうまくいかない。調理は得意だが、日本語での接客は難しい。
- ひらがなやカタカナで書いても日本語なので理解しづらい。
- 原産地証明が必要で外国人を多く対応している。市内にある中古車を海外に送る等。その他、勝手にお店を増築する…知識が不足しているがために、犯罪に加担しているケースがあるかもしれない。正しい知識の普及が必要。違法になり得るケースの紹介が有効か。

【課題】

- 紙媒体では発信は効果が薄いことが多い。オンライン、SNSの活用・推進が必要である。例えば中国だとティックトックをよく使う。
- 上尾市ホームページの改良はどうか。ぱっと見てわかるピクトグラムの活用。

【人権尊重の意識啓発】現状と課題

【現状】

- 無意識の差別を感じるときがある。外国人からのあいさつで安心安全なコミュニティを構築できるのでは。⇨夜に集まる文化の国もある
- 必要な情報が必要な人に行き届いていない。
- ひらがなやカタカナで書いても日本語なので理解しづらい。
- 取組みは複数実施できている。

【課題】

- 簡単に必要な情報が届くツールがあるとよい。
- 外国人に先入観がある。〇〇人はこういうもの。
- 日本語の扱いが完璧ではなく、助詞の使い方がうまくいかず、生意気に思われてしまった。



【就労】他市事例

- 「定期的に企業とのマッチングイベントの開催」
(名古屋市)
狙い：多文化共生を目指す企業とのネットワークを構築。
- 企業向けの「多文化職場づくりセミナー」(新宿区)
狙い：外国人労働者の働きやすさ向上と企業側の理解促進により、就労環境が改善
- 「就労支援としての履歴書作成講座」(名古屋市)
狙い：安心して生活できる環境の整備
- 「適正な外国人雇用労務リスク対策セミナー」
狙い：「入管法」など関連法律知識を習得することにより、適正な受入環境の整備につながる

【人権尊重の意識啓発】他市事例

- 「人権問題に関するトークショーやセミナー(多言語対応)」、多国籍料理教室を通じた異文化理解促進(豊島区)
狙い：住民間の交流機会が増え、外国人住民への理解と尊重の意識が高まる
- 「外国人住民やLGBTQ+といったマイノリティに焦点を当てた映画祭」(福岡市)
狙い：幅広い人権問題が取り扱われることで、地域社会全体の理解を深める

Bグループ ライフステージに応じ支援(就労) ・ 人権尊重の意識啓発

【就労】今後の取組

- 定期的に企業とのマッチングイベントの開催
ワールドフェアの機会をうまく活用できないか。
- 適正な外国人雇用労務リスク対策セミナー
狙い：長く安心して日本で働くことができるように
- SNSの活用
狙い：就労の機会拡大につなげる
- 日本語教室の拡大、継続
狙い：日本語の習得。やはりコミュニケーションをとる上で便利。

【人権尊重の意識啓発】今後の取組

- 外国人と交流できるイベントの実施
狙い：互いの文化などを知る機会とする。
- SNSの活用
狙い：啓発の機会拡大
- 講座の実施「地域でともに暮らすために」
狙い：偏見、バイアスの解消のため
- 外国人からの意見を取り入れる仕組み
狙い：日本より外国の方が進んでいる部分もある



Cグループ ライフステージに応じ支援（福祉） ・ 災害への備え

【福祉】これまでの取組（第2次計画）

取組	内容	令和6年度実績、取組内容、課題	評価
介護保険制度の多言語等対応の充実	介護保険制度について多言語等で対応します。	介護保険制度周知啓発向けパンフレット「上尾の介護保険」を4か国（英・中国・韓国・ベトナム）語でHPに掲載しています。	B 概ね計画通り
国民健康保険・国民年金・後期高齢者医療の多言語等対応の充実	国民健康保険や国民年金について多言語等で対応します。また、新たに後期高齢者医療についても対応を検討していきます。	国民年金は国で作成した外国人向けのパンフレットや、電話通訳サービスを活用しています。 国民健康保険はハローコーナー、電話通訳サービス、国民健康保険の日本語・英語版パンフレットを活用し対応しました。 また、令和4年度よりポータブル翻訳機を導入し活用している。	B 概ね計画通り

Cグループ ライフステージに応じ支援（福祉） ・ 災害への備え

【災害への備え】これまでの取組（第2次計画）

取組	内容	令和6年度実績、取組内容、課題	評価
避難所における多言語・やさしい日本語による情報提供	避難所における情報について、多言語・やさしい日本語で対応します。	全指定避難所に設置している防災倉庫内に「多言語表示シート」「コミュニケーション支援ボード」を備蓄しました。	A 計画通り
		災害時多言語支援センター運営訓練を実施し、避難所において多言語・やさしい日本語で対応できるボランティアの育成を行いました。	A 計画通り
外国人市民からの救急・消防通報への対応力の向上	三者同時通訳や翻訳アプリを活用し、外国人市民からの通報時や現場での対応力の向上に努めます。	対応言語数を21言語から32言語に増加することができた。	A 計画通り
災害・防災情報の多言語・やさしい日本語での提供	国や県等から提供される災害関係の多言語化された情報を、迅速に外国人市民に提供します。	1月末に多文化共生ボランティア講習会、2月に災害時多言語支援センター運営訓練を実施し、災害時に外国人支援を行えるボランティアの育成を行いました。	A 計画通り
		県国際交流協会主催の災害時多言語情報センター運営訓練に参加し、災害時の情報共有方法等を確認しました。	A 計画通り
多言語支援センター運営訓練の実施	災害時の外国人市民支援を目的とした講習会と訓練を実施します。	令和6年度上尾市災害対策本部訓練（令和7年2月1日開催）において、上平中学校で住民避難訓練、避難所開設訓練及び要配慮者関連訓練（高齢者・障害者・外国人）を同日・同時刻に開催し、外国人支援ボランティアの方にも参加いただきました。	A 計画通り
		1月に多文化共生ボランティア講習会、2月に災害時多言語支援センター運営訓練を実施し、災害時に外国人支援を行えるボランティアの育成を行いました。	A 計画通り

Cグループ

ライフステージに応じ支援（福祉） ・ 災害への備え

【災害への備え】これまでの取組（第2次計画）

取組	内容	令和6年度実績、取組内容、課題	評価
指定避難所標識のピクトグラム対応	外国人市民でも容易に理解できるよう、指定避難所標識にピクトグラムを表記します。	指定緊急避難場所等に新たに設置した表示看板について、避難場所であることが分かるピクトグラムを表記しました。	A 計画通り
避難所における外国人市民の支援マニュアルの作成	避難所等に避難した外国人市民に対し、適切な支援を行うためのマニュアルを作成します。	応急対策業務個別マニュアルとして「要配慮者安全確保対策マニュアル（外国人）」について更新を実施しました。 また、全指定避難所に配備している避難所開設キットの手順書に記載のある「外国人への配慮」について、避難所班職員に周知しました。	A 計画通り
		災害時多言語支援センター運営訓練時に避難者役の外国人市民からどのような支援が必要か、現在の避難所運営の問題点などの聞き取りを行いました。	B 概ね計画通り
外国人市民による災害時の支援活動	日本の生活習慣や文化に理解が深い留学生をはじめとする外国人市民が、外国人被災者への通訳・翻訳支援等、避難所における支援活動で活躍できるよう検討します。	令和6年度上尾市災害対策本部訓練（令和7年2月1日開催）において、上平中学校で住民避難訓練、避難所開設訓練及び要配慮者関連訓練（高齢者・障害者・外国人）を同日・同時刻に開催し、外国人支援ボランティアの方にも参加いただきました。	A 計画通り
		通訳・翻訳ボランティアに登録している方を対象に、災害時の外国人支援を目的とした講習会および訓練の周知を行いました。	B 概ね計画通り
「防災ガイドブック」及び「水害ハザードマップ」の多言語化	避難場所や災害リスクを可視化した「防災ガイドブック」及び「水害ハザードマップ」を多言語で提供します。	多言語対応電子書籍「Catalog Pocket」（カタログポケット）により多言語の翻訳・読み上げに対応しています。	A 計画通り
		外国人転入者を対象としたウェルカムフォルダーに「防災ガイドブック」「水害ハザードマップ」の多言語版に関するチラシを同封し、配布しています。	A 計画通り
外国人市民向け防災事業の実施	地震や洪水等、日本の災害について外国人市民が事前に把握できるよう、地域の防災教室・イベントでの防災啓発を検討します。	あげおワールドフェア2024において上尾市防災士協議会によるイツモ防災講座を実施しました。	A 計画通り
		講習会や訓練に参加した外国人市民から災害に関する心配事などの聞き取りを行いました。また、防災士協議会と連携し、あげおワールドフェアにおいて防災に関するブースを設けました。	A 計画通り
防災訓練への外国人市民の参加促進	自治会や自主防災組織などと連携し、災害時に必要な知識を習得できる訓練への外国人市民の参加を促します。	令和6年度上尾市災害対策本部訓練（令和7年2月1日開催）において、上平中学校で住民避難訓練、避難所開設訓練及び要配慮者関連訓練（高齢者・障害者・外国人）を同日・同時刻に開催し、外国人支援ボランティアの方にも参加いただきました。	A 計画通り
		2月に上尾市災害対策本部訓練を実施し、外国人避難者役として4名の外国人市民が参加しました。訓練では、タブレットを使用した情報共有の方法を学びました。	A 計画通り

【福祉】現状と課題

【現状】

- 日本の制度の理解が不十分である
- 外国人の方が制度の対象に含まれているのかわからない
- 日本人と同じく外国人の高齢化も進んでいる

【課題】

- まずは制度を知ってもらう必要がある
- 取り扱われている制度の対象に含まれているか共有してあげる必要がある
- 高齢化に伴い、今後の意向についても配慮してあげる必要がある（遺言や相続など）

【災害への備え】現状と課題

【現状】

- ろう文化を対象としているのか、外国人の方限定での支援になっていないか
- 外国人の災害への意識が定着していない可能性がある

【課題】

- 言語が通じないことだけに限らず、ろう文化に対応できる支援を増やす必要がある
- 上尾市の災害への取り組みを知ってもらう中で、災害への意識を高めてもらう必要がある

【福祉】他市事例

- 「外国語対応の福祉サービスガイドブック作成」 ・ 「外国人向け生活支援講座の開催」（横浜市）
狙い：制度的な知識不足から福祉利用を躊躇する外国人市民が減少し、行政サービスの受益者層が増加
- 「外国人市民に対する国民年金、健康保険、介護保険などの社会保障制度の周知の強化」（豊橋市）
狙い：各種社会保障制度のメリットを周知することで、納付率を高める

【災害への備え】他市事例

- 「防災ゲーム」（兵庫県）
地域コミュニティの外国人住民が楽しく防災を学べる防災のシミレート
狙い：ゲーム形式のため、参加率が向上、世代や文化を超えての交流が促進
- 「防災コーディネーターの育成」と「ポケットサイズの多言語防災マニュアルを配布」（川崎市）
狙い：災害時円滑な支援体制の構築

【福祉】今後の取組

- 外国人を対象に制度の周知をしていく
- 転入手続き後、後日改めて市役所に来てもらい、その他手続きを行いながら制度の説明を行う
- 外国人の方向けに相続や遺言などの講習会や勉強会などを実施する

【災害への備え】今後の取組

- 防災ゲーム
上尾ワールドフェアの一部に催物として組み込む
ゲーム方式で楽しみながら学ぶ感覚で
- 災害時のボランティアに外国人を派遣する
言語の問題も解消され、外国人も避難所に避難しやすくなる
- 手話通訳者を避難所に一人ずつ配置する